

# OCHIS 10周年記念セミナー

から参加 全国多数

ヘルスケアネット

ワーク(OCHIS)は9日、第10回OCHISセミナー・第17回両輪会の合同開催として「SAS対策事業10周年記念セミナー」を開催。近畿だけでなく全国から事業者が参加した。

開会あいさつで武田裕理理事長は、「交通事故などをマネジメントするには、原因となる情報が必要で、これから『インフォメーションシステム』の意味を考えながら、(ドライ

武田理事長



バーの)健康管理システムを一緒につくりあげたい。今後とも引き続き、ご支援をいただきたい」と述べた。

近畿運輸局自動車技術安全部長の酒井雅彦氏が祝辞を述べ、OCHIS保健師の黒田悦子氏が「OCHISのデータが示す10年の軌跡」を発表。また、特

別講演として大阪市立

大学大学院医学研究科 疲労医学講座の榎本修身教授が、「間違いだらけの疲労の常識 疲労医学が解明する最新の疲労回復法とは？」について解説した。

基調講演では「事業用自動車の健康起因事故防止対策」を国交省自動車局安全政策課の



作本副理事長

平井隆志課長、「運輸業界における健康・安全対策の展望」を労働科学研究所の酒井一博所長、「OCHISとの関わり10年とわが社の取り組み」を梅田運輸倉庫の岩崎小夜子常務がそれぞれ講演。

セミナーの最後に、作本貞子副理事長が「多忙なドライバーがリーズナブルな医療費で受診していただけるよう、皆様にOCHISのメッセージをしっかり」と受け止めサポートしていただき、ありがたく感じている」とし、「何よりも財産と

感じているのは事業者の皆様との信頼関係。SASと生活習慣

病との関連性について過去に調査した際、1200人にご協力いただき、定期健康診断の結果をほぼ即決で提供いただいたことは自信につながった。地道な活動を通じて健康マネジメントを推進していくことが、これからOCHISが果たすべき役割と捉えている。現場目線にこだわり、運輸業界の発展に貢献していきたい」と締めくくった。(木村麻理奈)